



令和3年度 夏の「^{ふるさと}郷土に学び・育む青少年運動」における特色ある取組
～青少年を育てる環境づくりの推進について～

【テーマ】：「ペアレンタルコントロール等によるインターネット利用に係る
子供の犯罪被害等の防止に関する保護者や青少年の意識の向上」の取組

市町村名(出水市)

事業名	家庭教育支援講演「情報モラルとネットトラブルへの対応について」(米ノ津小学校)	実施時期	令和3年7月15日(木)
趣旨又は目的	サイバー犯罪やネットいじめの調査研究を行い、一般市民の方々へ、サイバー犯罪の周知、犯罪被害者支援及びネットいじめ等の対策アドバイス事業を行っている「ネットポリス鹿児島」理事長の戸高成人氏を講師に招き、ネット利用における健康被害について知り、対応の仕方を学ぶ。		
参加者	123人(小学5年生47人,小学6年生55人,保護者21人)		
活動概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 ネット依存による障害の危険性について知る。 <ol style="list-style-type: none"> (1) ゲーム障害 (2) 健康被害(脳へのダメージ) (3) 行動嗜癖等の危険性 2 ネットの利用を考える。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 1日1時間以内の時間制限 (2) 就寝前の利用禁止 3 家庭内のルールを子供と一緒に話し合うことの大切さについて知る。 		
活動写真 [説明]	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、子供たちがスマートフォンやゲーム、タブレットに触れる機会が増えていることを指摘したうえで、スマホやタブレット、パソコンの使い過ぎによる健康被害について科学的な根拠をもとに説明があった。</p> <p>ネットの長時間利用が人体へ与える影響について各種データや図を用いて説明があり、視覚的にもわかりやすい講演であった。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 45%;"> <p>GIGAスクール構想により、子供たちがタブレットを利用する機会が増えていることから、保護者だけでなく、子供たちも真剣に講演会を受講しており、中にはうなずきながら聞き入る姿もあった。</p> <p>ネットは適切に利用することが大切であることを子供たちだけでなく、保護者も痛感するとともに「ネット使用は1日1時間以内の使用」と「寝る前には使用しないこと」など、家庭内でのネット使用について考えるきっかけになった。</p> </div> </div> <div style="width: 45%;">  </div>		